

## 結果発表

# ジャンボかぼちゃコンテスト & 重量当てクイズ

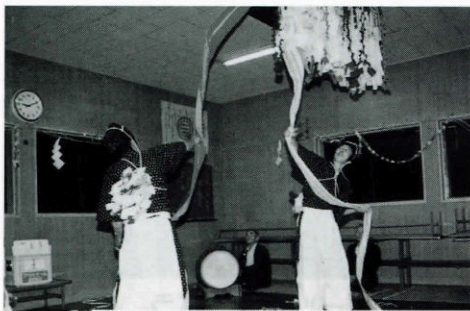


10月15日のふるさとまつりでは、第2回ジャンボかぼちゃコンテストが行われ、第1位に輝いたのは、下東方の田中俊雄さんでした。重さは、なんと57kg。昨年の記録を大きく越えるものでした。

また、会場内で行われたジャンボかぼちゃ重量当てクイズの正解は、31.7kgでした。200人を越える応募のなか見事に正解されたのは、ただ1人、中村の川井香徳里さんでした。おめでとうございます。

## ● 兔渡谷 神楽舞奉納

兔渡谷自治会で、10月13日神楽舞が奉納され、会場となった公会堂には同自治会の住民が集まり、夜遅くまで盛り上がりました。兔渡谷神楽舞は、山伏神楽を基本に石州神楽が入った里神楽で、滝坂神楽舞とは、曲目の順位や名称が多少違います。太鼓も一調子早いので、舞手にとっては難しく、神楽舞を復活させてまだ3年目ということもあり、「練習してもなかなか覚えられない」という声も。しかし、舞は見事なもので、「足馴し」から始まり、「帯ノ舞」・「四剣」など全曲目24のうち11の曲目が奉納されました。



◀ 帯ノ舞



▶ 天蓋 (てんがい)

## わがまちの文化財 (6)

### ● 宗頭小学校の沿革と跡地 ●



本校の促進で市・豊原両小学を廃して明倫小学校を創設。宗頭小は明倫小の分校となる。同五年一村一本校制の緩和で宗頭尋常小学校として独立。同三年杉山に分教場を設置。三四年高等科を併置し宗頭尋常高等小学校と呼称。同四年児童減で分教場を廃止。

昭和一六年村立宗頭国民学校と改称。同二二年戦後の六三制で町立宗頭小学校に改組。同四六年(一九七二)明倫小学校に統合。

平成四年跡地之碑を建立して九九年の歴史を後世に伝える。跡地には幼稚園、文化センター、健康管理センター、プール等が設置され地区民交流の場となっている。また文化センターを拠点とした多彩な地域活動が展開され平成七年むらづくり部門で天皇杯を受賞し、さらなる発展の歩みを続けている。

明治五年(一八七二)国民皆学を指して学制が公布された。三隅村には二小学区が設置され、上地区は三隅市小学区に属した。学童の遠隔通学を憂慮した宗頭の山本七右工門は、私財を投じて村費支出を伴わない宗頭小学の設立を願いだした。文部省から前大津第五私小学と唱えることを命じられ、全国に類まれな公費で無償の私学を宗頭に発足させた。以下の沿革年表で紹介する。

明治六年(一八七三)七月三日私小学発足。同一四年県下の私立小学は教員の資格制限で全廃と決定される。同一五年村立宗頭小の設立が認可。滝坂・中野分校の存在が確認されるが、設立廃止の年不明。同一六年村立宗頭小の改築が認可。同一七年一村一学区。一学区一



三隅町文化財専門委員会